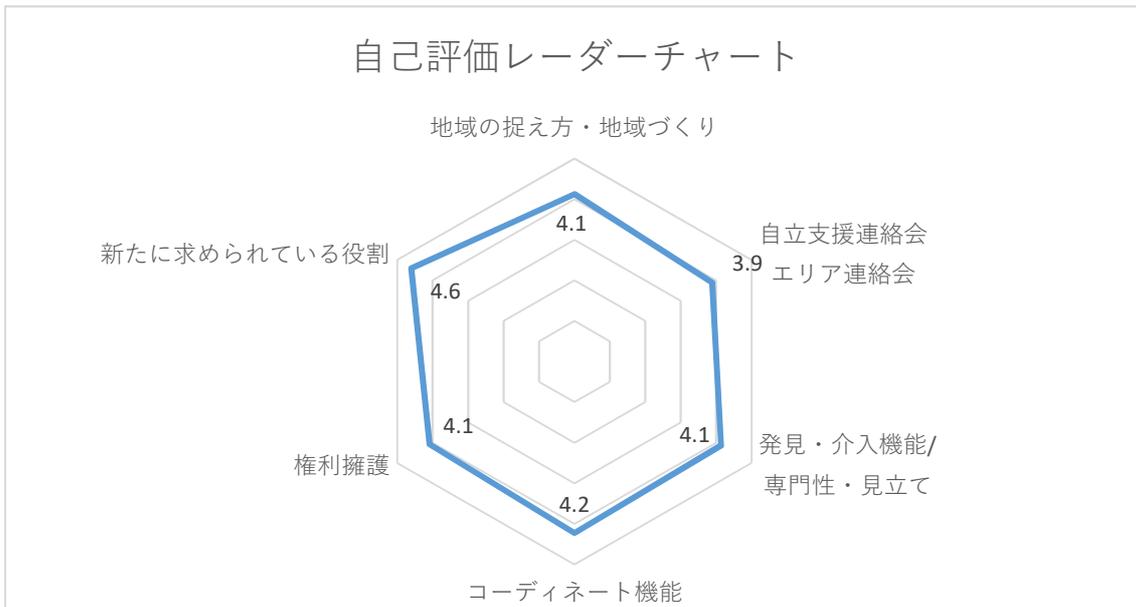


# 令和7年度委託相談評価 浜北センター



## 1. 総評

自己評価において「新たに求められている役割 (4.6)」や「発見・介入機能/専門性・見立て (4.1)」等で高いスコアを記録している。また、他者評価においても、関係機関から「迅速な対応」「一人ではないと思える安心感」といった声が寄せられており、地域における「ワンストップ」の相談拠点として信頼を得ていることが確認された。

## 2. 強み、求められる機能

エリア連絡会活動：顔の見える関係性と専門性の向上：全事業所対象の「浜北ネットワーク部会」を通じて、強固な「顔の見える関係性」を構築している。また、相談支援部会の事例検討会により、相談員同士が共に学び合う文化が定着し、専門的なアセスメントスキルの底上げに大きく寄与している。

地域づくりと連携：分野を超えたネットワークの深化：高齢・教育・行政との連携が非常にスムーズである。スクールソーシャルワーカーとの学齢期移行ワーキングの運営や、地域包括支援センターとの定期的な勉強会、民生委員の定例会への継続的な参加など、多分野が日常的に協働できる仕組みができています。

## 3. 今後の取り組みへの期待

現在の盤石な支援体制をさらに進化させるため、以下の点に取り組むことを期待する。

- ・ 課題の還元と可視化：現場で抽出された地域課題が、市の自立支援協議会などの施策へどう反映されているか、その「過程の見える化」を進め、関係機関や当事者へのフィードバックできるとよい。
- ・ 地域住民とのさらなる協働：包括圏域ごとの地区担当制を活かし、より住民に近い視点での課題抽出や、地域住民を巻き込んだ支援体制の構築。
- ・ 専門ツールの活用や研修の実施：「こどもアセスメントツール」の習熟や、権利擁護研修の実施等により、専門的な見立てと代弁機能をさらに磨き上げできるとよい。